あの件、どこで話したっけ？

をなくす

情報の分散と無駄なコミュニケーションを防ぐ情報共有術

backlog by nulab



多くのプロジェクト現場の声に耳を傾けると、
下記のような課題が共通して見えてきました

お悩み

チームの「これは非効率だな…」と感じる情報共有のルールや習慣



チーム全員で共有し、把握、議論すべき内容だが、個別の会話やチャットで展開され、
そのままその場で埋もれてしまう。また別途会議などで共有されるとしても結果として二重の工数が発生する。

メールで送ったり、チャットで送ったり煩雑。

リモートワークの広がりによりチャットでのやり取りが増加。

やり取りするツールが分散し、情報が埋もれてしまい
無駄なコミュニケーションが発生しています。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

コミュニケーションチャネルの増加により、「情報の埋没」という新たな課題が浮き彫りになっています

チャットや会議の裏側で、知らず知らずのうちに積み重なっている『情報のロス』の実態を整理しました。

現状

個別のチャットやDMで議論が展開



問題点

二重の共有コスト

- 複数のチャット、メールに情報が散らばり、探す時間が業務を圧迫
- 不参加メンバーや後任者が文脈を理解できず、誤解や手戻りが発生



セルフチェック

- 過去の決定事項を探すために、チャットの履歴を長時間遡ることがある
- 「聞いていない」「あの件はどうなった？」という確認のやり取りが毎日発生している
- 重要な依頼がタイムラインに流され、対応漏れが起きたことがある

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

情報の埋没を防ぐ「情報の資産化」3つのルール

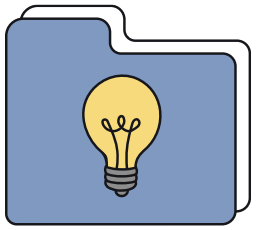
「探す」時間を削減し、情報をチームの「共通資産」へ変える

情報の紐付け



- 会議論を独立させず、必ず「タスク」に紐づける
- 会話を「進捗」とセットで管理することで、いつでも文脈を辿れるようにする

ナレッジの即時ストック化



- 会議の議事録やマニュアルを特定の個人から解放し、共有の場に集約する

証跡の可視化



- 「いつ・誰が・何を」変えたかをシステムで自動記録
- 説明の工数を省き、情報の信頼性を担保する

次のページから、**Backlogを活用した解決のヒント**をご紹介します！

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

「Backlog」とは？

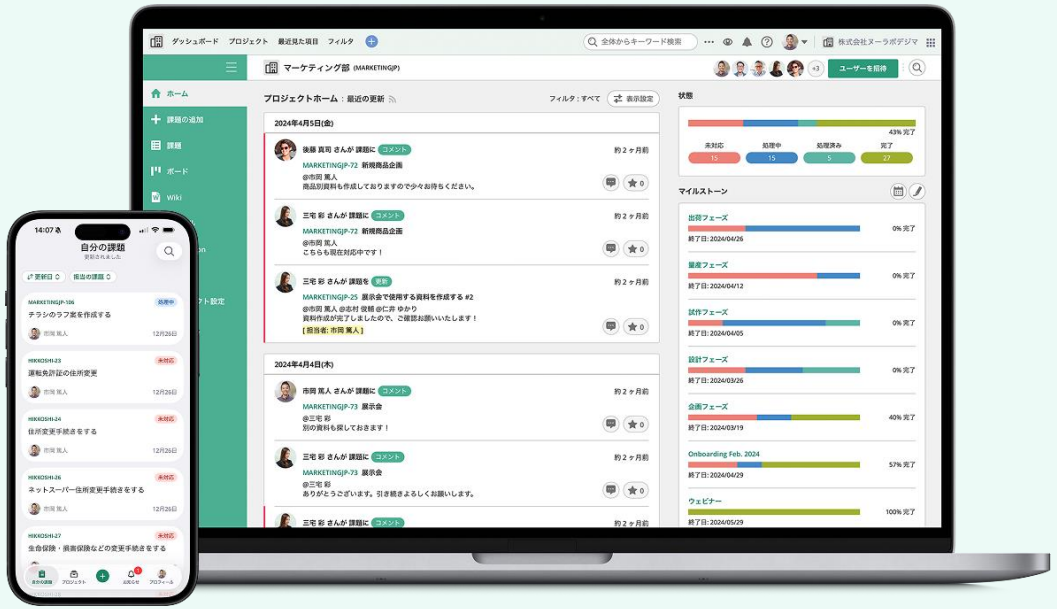
チームのタスクを可視化しコミュニケーションを促進する、
プロジェクト・タスク管理ツールです。

Backlogの特長

シンプルな操作性
直感的なインターフェースで誰でも簡単に使いこなせます

親しみやすいUI
使いやすさを重視した“仕事が楽しくなる”デザイン

チームで働くすべての人に
チーム全体の業務やタスクを可視化し、情報を一元管理できる多彩な機能



backlog by nulab

主な用途

- プロジェクト管理
- タスク管理
- バージョン管理
- ナレッジ共有

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 1　コメント機能でタスクに紐付く形でやり取りを集約

使用する機能：「コメント」



- Backlog内でタスクに紐づく形でコメントでやり取りができるため、情報が見つけやすくなります
- 「なぜこの進め方になったのか？」といった経緯を残すことができます
- タスクの変更履歴も残るため、いつ・誰が・何をしたのか一目でわかります

やり取りがタスクに紐づく形で集約されるため、「あの件、どこで話したっけ？」と過去のチャットを遡って探すといった無駄な時間をなくせます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 2　会議でのやり取りを一元管理する

使用する機能：「ドキュメント」



- 会議でのやり取りを議事録として
  ドキュメントに集約すれば、
  ナレッジを一元管理できます

- ドキュメントは複数人で同時に編集できるため、
  会議の議事録や業務メモをその場で共有・更新
  できます

会議の決定事項や経緯をドキュメントに一元管理することで、
「言った・言わない」の認識のズレを防ぎ、不参加メンバーにも共有しやすくなります。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 3　資料を一元管理する

使用する機能：「ファイル」



- ファイル機能を用いれば、
  社内でやり取りされる資料をBacklogに
  集約できます

- ファイルに格納した資料は「更新日」の期間や
  「更新者」で絞り込んだり、「ファイル名」で
  検索できます

散在しがちな資料を一箇所に集約し検索性を高めることで、
「最新版のファイルは誰が持っている？」と探し回ったり、人に質問する時間を削減できます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

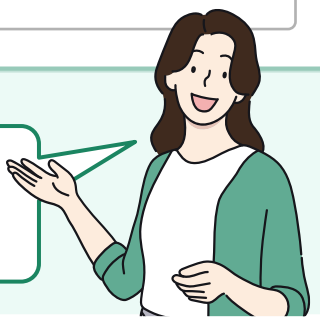
解決策 4　AI活用で情報収集を効率化

使用する機能：「Backlog AIアシスタント」



- **Backlog AIアシスタントに質問すると、Backlogに蓄積された情報から必要なものを整理・要約して提示します**

- **プロンプト例**
  - 〇〇（施策）について教えて
  - この課題のコメントを要約して
  - 〇〇に関するやり取りを探して



Backlogに蓄積された過去のやり取りから、AIが知りたい情報を瞬時に抽出・要約。
過去の膨大なコメントから情報を探し出す手間を省き、効率化を実現します。

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlogのご案内



まずは
体験してみませんか？

30日間無料で試す



Backlogがわかる！
資料3点セット公開中

ダウンロードする



オンラインセミナー
開催中

セミナーに申し込む



オンライン個別相談も
可能です

個別相談を予約する

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年 3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.